



報道関係者各位

2023年10月2日
東京都小平市
株式会社マーケットエンタープライズ

東京都小平市が「おいくら」との連携による

不要品リユース事業をスタート

～利便性を高め、リユースの更なる促進へ～

東京都小平市(市長:小林 洋子)と株式会社マーケットエンタープライズ(東京都中央区、代表取締役社長:小林 泰士、東証プライム・証券コード 3135、以下「マーケットエンタープライズ」)は、2023年10月2日(月)より、地域社会における課題解決を目的としたリユース事業に関する協定を締結し、連携をスタートいたします。マーケットエンタープライズが運営するリユースプラットフォーム「おいくら」を用いて、不要品を捨てずに再利用する仕組みを構築し、小平市の廃棄物削減と循環型社会の形成を目指します。



■背景・経緯

小平市では、リプレこだいりに搬入された家具などを再生し、市民に安価での販売や、地域情報サイトとの連携、市民間の生活用品交換や、3Rについて学ぶ環境教育の実施など、リユース活動に対して、複数の精力的な取組を行ってきました。しかしながら、市民を対象にしたアンケート(2022年7月小平市資源・ごみに関するアンケート調査報告書)では、リユースに関する取組について、「特に実践していることはない」という回答が25%を占めるなど、リユース促進につながる新たな施策の導入が必要だと考えておりました。市では、一般廃棄物処理基本計画で重点施策と位置付けたリユースの促進や、リユースサイト・リユース事業者との連携強化を図る具体策を模索しておりました。

他方、マーケットエンタープライズは、リユース事業を中心に事業展開しており、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」への参画や、「楽器寄附ふるさと納税」実行委員会の一員として活動を続けるなど、官民の垣根を超えた SDGs への取組に注力してまいりました。そうした中でマーケットエンタープライズが働きかけ、「リユース活動促進による循環型社会の形成を目指したい」という互いのニーズが合致したため、「おいくら」※1 を用いた今回の取組が実現しました。

※1「おいくら」とは

おいくらは、マーケットエンタープライズが展開する、リユースプラットフォームです。不要品を売りたい方が「おいくら」を通して査定依頼をすると、全国の加盟リサイクルショップに一括査定依頼され、買取価格を比較することができます。一度の依頼だけで不要品の買取価格をまとめて比較し、売却できる手軽さが好評で、これまでおよそ 110 万人(2022 年 11 月現在)の方にご利用いただいております。

ウェブサイト:<https://oikura.jp/>

■小平市の課題と「おいくら」による解決策

小平市では、戸別収集による粗大ごみの収集を行っており、原則、市民が道路に面した自宅の敷地内まで運び出す必要があります。通常は、申し込みの翌日から4営業日以内での収集が行なわれていますが、長期連休や年度末には、自宅の整理や転勤に伴う引越しなどで、粗大ごみの受付が増える傾向にあり、通常よりも処分に時間がかかるケースがありました。「おいくら」は、希望すれば、自宅の中まで訪問し対応する出張買取が可能で、大型で重量のあるものでも、売却が容易にできるようになります。加えて、不要品売却と受け渡しは、最短だと「おいくら」を通じて買取依頼をした当日に可能となります。さらに小平市が回収を行っていないテレビや冷蔵庫、洗濯機などの家電リサイクル法対象の製品も、まだ活用できるものであれば、売却が可能です。なお、市民の「おいくら」サービス利用に関する費用負担はもちろん、小平市の費用負担もありません。

■今後について

10 月 2 日(月)15 時(公開時間が前後する可能性があります)より、小平市ホームページ内(<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/000/000313.html>)に「おいくら」の情報が掲載され、直接不要品の一括査定申し込みが可能になります。小平市と「おいくら」の連携により、二次流通の更なる活性化による循環型社会の実現や、社会全体での不要品削減が見込まれると共に、自治体の廃棄物処理量や処理コスト削減にもつながります。本取組によって、簡単にかつ廃棄ではなく売却という形で不要品のリユースができることを市民が認知することにより、「リユースする」という選択肢が増え、多様化する不要品処分ニーズに応えることができます。加えて、市民の不要品処分やリユースに対する意識の変化、循環型社会形成の促進につながります。この官民一体の取組によって、循環型社会の形成に向けた、社会的側面・経済的側面の双方の課題解決を目指してまいります。

■東京都小平市

小平市は、東京都の多摩地区の東北部・武蔵野台地にあり、都心から西に26kmの位置にあります。小平の歴史を見つめてきたケヤキ並木の面影残る青梅街道が、市の中央部を東西に貫き、これと並行して南に五日市街道、北に東京街道、新青梅街道が通っています。さらに南北には、府中街道、新小金井街道、小金井街道が通り抜けています。また、五日市街道にそって玉川上水があり、その沿道は緑の散歩道として市民に親しまれています。JR武蔵野線、西武新宿線、西武国分寺線、西武多摩湖線、西武拝島線が通り、市内には7駅、市の境には3駅があり、首都圏へのアクセスは良好です。

人口：196,909人（男96,345人、女100,564人）（2023年9月1日現在）

世帯数：96,164世帯（2023年9月1日現在）

面積：20.51平方キロメートル（2023年1月1日現在）

ウェブサイト：<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/>

■株式会社マーケットエンタープライズ

マーケットエンタープライズは、ネット型リユース事業を中心に、メディア事業、モバイル通信事業などを展開し、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、2006年の設立以来、成長を続けています。2015年6月には東証マザーズに上場。2021年2月に東証一部へ市場変更の後、2022年4月にはプライム市場へ上場しております。ネット型リユース事業では、「高く売れるドットコム」のほか、リユースプラットフォーム「おいくら」や、80か国以上への中古農機具の輸出などで事業拡大を続けており、ネット型リユース事業のサービス利用者は延べ710万人を達成しました。小平市の「おいくら」サービス導入により、導入自治体は全国で66にのぼります。

「おいくら」自治体向けウェブサイト：<https://oikura.jp/lg/>

マーケットエンタープライズ ウェブサイト：<https://www.marketenterprise.co.jp/>

【報道関係者からのお問合せ先】

小平市に関すること

担当：環境部 資源循環課

推進担当：井上

Tel: 042-346-9535 Mail: shigenjuncan@city.kodaira.lg.jp

「おいくら」に関すること

株式会社マーケットエンタープライズ 広報

担当：立花

Tel: 03-6675-3923 Mail: pr@marketenterprise.co.jp